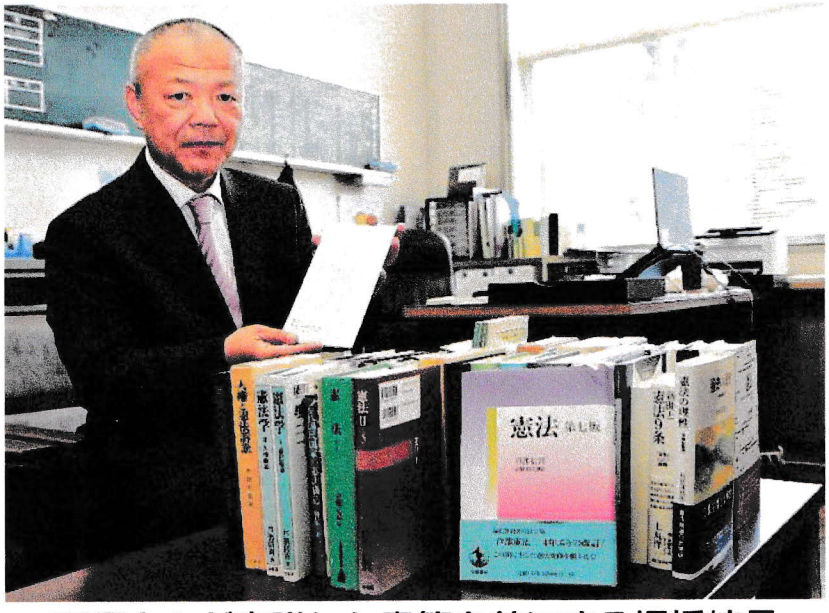
憲法書籍 母校伊那北高に寄贈

40冊 元最高裁判事の那須さん



那須さんが寄贈した書籍を前にする埋橋校長

芦部憲法学コーナーに

伊那市出身の元最高裁判事で弁護士の那須弘平さん(77)＝東京＝が11日、戦後日本を代表する憲法学者、芦部信喜(のぶよし)さん（1923～99年）＝駒ケ根市出身＝の著作を中心とする憲法関係の書籍40冊を母校伊那北高校に寄贈した。

那須弘平さん

信濃毎日新聞の連載「芦部信喜 平和への憲法学」をきっかけに、芦部さんの母校でもある同校の図書室に芦部憲法学コーナーができたと知り蔵書充実のため思い立った。

寄贈したのは体系書の「憲法」第4、6、7版（岩波書店）、「憲法学」Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（有斐閣）や専門書の「現代人権論」「憲法訴訟の現代的展開」（ともに有斐閣）など芦部さん関係が23冊。この中には芦部さんが学生の質問に答える形で解説した「憲法の焦点」（同）も2分冊ある。

このほか芦部さんの教え子の憲法学者高見勝利さん、高橋和之さん、渋谷秀樹さん、長谷部恭男(やすお)さんらの著作が17冊ある。

多くは那須さんが2006～12年の最高裁判事時代に判決文を書く参考にしたり、その後の弁護士時代の論文執筆に活用したりしたという。那須さんは「芦部さんは日本の憲法学に大きな影響を与えた。その業績に触れ、刺激にしてほしい」と期待している。

本は同窓会事務局に送り、11日、埋橋浩校長に届けられた。7冊だった芦部憲法学コーナーの本は一気に増える。

伊那北高の校章は「ペンは剣より強し」にちなみ、平和を希求する理念を象徴した「クロスペン」。埋橋校長は「憲法の精神を反映しており、芦部さんの憲法学にも通じる。生徒たちが今後の学習に生かしてほしい」と話した。